

令和6年度第5回あおもり未来ミーティング（西部第7区連合町会）会議概要

日 時：令和6年8月19日（月）13：59～14：32

場 所：中央市民センター 石江分館

テーマ：新青森駅周辺に整備された街路樹及び花壇の整備と管理について

参加者数：7名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、都市整備部長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・新青森駅前周辺には、石江土地区画整理事業により整備された街路樹及び街路樹が植えられた花壇があるが、街路樹が立ち枯れているもの、枯れそうなもの、根元から無くなっているものなど、40本近くある。また、街路樹の植えられた花壇には萱や雑草が生えていて、大変見苦しい状況である。街路樹は植替えや剪定を行い、花壇は草刈りをするなどしているようだが、ラベンダーなどの花を植えて、景観の良い花壇に整備管理してほしい。新青森駅周辺が青森市の玄関口として良い景観を作るよう、三内丸山遺跡の見学に訪れた人々にまた青森に来たいと思われるような街並みにしてもらいたい。
⇒今回意見をもらった街路樹は、植樹以来、樹勢が芳しくなく、立ち枯れする樹木もあったことから、観察、場合によっては伐採を行ってきた。新青森駅は市の代表的な玄関口の一つであり、周辺環境を改善することは市のイメージ向上につながるものと考えている。今回意見をもらった街路樹については、樹齢が若い樹木であることから、土壌が生育に適しているかなど、引き続き観察を続けることとし、今後は環境改善についても町会と相談しながら対応について検討したい。
他の町会の事例として、町会と市が一体となって環境整備を行っている事例がいくつかある。公園河川課では、花苗等の支給や花壇づくりの講師派遣、活動団体への看板提供など「地域花いっぱいまちづくり事業」を実施している。今後も、町会と協力しながら地域の環境改善に努める。

○テーマ以外に関するご意見等

- ・当町会には仁八沼という大きい沼があり、周辺の草が伸びて大変景観が悪かった。昨年、三内で猿が出たというチラシを環境政策課の職員が持ってきた際にその話をしたら、次の週に草刈りをしてくれた。その後、あまりに風通しが良くなったのか、沼の草が枯れ、臭いがするようになった。それで川下の人からどうにかならないかと町会に話が来て、6月に公園河川課に相談に行ったところ、国の補助で7～8月に沼の除草と土を掘って片付ける計画を立てていたと教えてくれた。新幹線が開通して13～15年ぐらいになるが、その時の工事の際、沼の中を空にして綺麗にしていたのは分かっている。その後、沼に入ってくる水が側溝を通るようになり、沼の水が流れなくなった。側溝の改良などをし、水の流れる綺麗な沼にしてほしい。
⇒側溝は、場所ごとに管理主体が変わってくるため、後ほど細かい場所を確認する。浚渫については、今、地方債でできるということもあり、集中的にやってきたところもあるため、今後もそういった制度があれば実施していきたい。
- ・当町会には旧石神通りというものがあり、令和4年8月22日に側溝の埋設の要望を出した。ここには側溝が設置されておらず、雪解け水や雨水が行き場を失って玄関先に流れ込んでいた状態である。最近の豪雨などの発生から被害防止のために市に側溝の要望を出した。その結果、昨年と今年の4月に側溝の設置工事が行われ、市の早急な対応にとっても感謝している。この側溝は全体の工事が始まったばかりなので、旧石神通りの側溝が全体に埋設するよう、継続して進めてもらいたい。
⇒要望について承知した。